

Der Kansai Kommunisten Bund

労働者協会・政治機関紙「烽火」

●創刊号(61年10月4日)

- ①「声明」 労働者協会
- ②「主張・当面する情勢と我々の闘いの方向」 九・二八編集委員会
- ③「労働・炭労政策転換闘争について」 飛鳥浩次郎
- ④「学生・学生運動と平和運動」 京都府府学連委員長・浅田隆治
- ⑤「理論・現代資本主義(その一)」 京都府学連副委員長・社学同全国準備委員・田原 芳
- ⑥「発言・革命的情熱を行動で示せ」 木山 茂
- ⑦「職場ニュース(一)大幅賃上げ500円の闘い」 木山 茂
- ⑧「職場ニュース(二)ビルの谷間“危機”」 園田 浩
- ⑨編集後記 百済野文章・中島鎮夫

●第2号(61年10月16日)

- ①「主張・最近の経済の動きと我々の学習」 十・九編集委員会
- ②「労働・事前協議制と労働運動」 飛鳥浩次郎
- ③「学生・学生運動の諸問題」 杉本修一
- ④「理論・国家独占資本主義論にあらわれた修正主義の本質」 三宅崇明
- ⑤「文化時評・吉本隆明『言語にとって美とは何か』」 遠井啓一郎
- ⑥「組織(一)統一戦線論について」 山本勝也
- ⑦「組織(二)“新しい路線”はどこへいく(上)」 浅田隆治
- ⑧「職場だより(一)全電通近畿地本のスト論議について」 大崎 悟
- ⑨「職場だより(二)政暴法再審議断固粉碎！」 新開純也
- ⑩編集後記 中島鎮夫

●第3号(61年12月10日)

- ①「主張・反帝・社会主義の闘いにむけてあらゆる闘争を集約せよ」 「烽火」編集委員会
- ②「労働・労働者福祉運動について」 原口玲二
- ③「学生・社学同を組織し強化せよ(上)」 渥美文夫
- ④「理論・革命における政治的自由」 園田 浩
- ⑤「職場だより(一)公安条例粉碎のアピール」 社学同同大支部
- ⑥「職場だより(二)基地反対闘争の現地報告」 和歌山ブンド
- ⑦編集後記

●第4号(61年12月23日)

- ①「主張・春闘と戦闘的労働者」
- ②「学生・全学連の再建と統一を断固として推し進めよ」 京大教養部自治委員長・山下明宏
- ③「文化時評・『前衛主義批判』の流行に思う」

- ④「全国ニュース(1)長崎造船社研の闘いとその問題点」
- ⑤「全国ニュース(2)烽火編集委員会を中心とする関西ブントの動き」
- ⑥「職場だより(1)ふきあがる若手無党派活動家のエネルギー」 園田 浩
- ⑦「職場だより(2)京大教養部自治会選挙 社学同の勝利に終わる」 茂田一義

●第5号(62年1月23日)

- ①「主張・春闘と学生運動」 浅田隆治
- ②「労働・春闘に対する一考察」 井内 創
- ③「理論・恐慌論メモ」 佐々木和雄
- ④「職場だより(一)電気労連のスト指示権中間委譲について」
- ⑤「職場だより(二)かけ声だけの春闘を闘う春闘へ」
- ⑦編集後記

●第6号(62年2月14日)

- ①「主張・春闘討論集会の総括と我々の立脚点の再評価」
- ②「労働・国公労働者のストライキで政府独占の死期を早めよ」 木山 茂
- ③「理論・組織論メモ」 浅田隆治
- ④「全国ニュース(1)社会党大会と労働運動の地すべり」
- ⑤「全国ニュース(2)春闘状況とその課題」
- ⑥編集後記

●第7号(62年3月1日)

- ①労働・春闘の行き詰まりと賃金闘争 園田 浩
- ②学生・自己権力論と学生運動=東京社学同批判 新開純也
- ③理論・現代資本主義論(その二) 中島鎮夫
- ④編集後記

●第8・9合併号(62年4月20日)

- ①「主張」 編集委員会
- ②「特集・四、五月闘争に向けての討議資料」 編集委員会
 - (1)「革命的政治闘争とは何か」
 - (2)「西欧資本主義国の情勢」
 - (3)「アメリカ資本主義の動向」
 - (4)「日本の政治経済情勢」
- ③「学生・われわれの任務と行動方針」 社学同学対部
- ④「理論・黒田哲学批判」 牧 正彦
- ⑤「時評・参議院選挙についての原則の出発点」 編集委員会
- ⑥「全国ニュース(1)三・一七憲法調査会公聴会阻止闘争」
- ⑦「全国ニュース(2)電電公社、合理化計画大失敗」
- ⑧編集後記

関西共産主義者同盟・機関誌『共産主義』（発行・労働者協会）

●第10号(62年6月5日)～『烽火』改題

- ①「主張・関西フントに結集せよ」 飛鳥浩次郎
- ②「参議院選挙をむかえる情勢とわれわれの闘争」 園田 浩
- ③「春闘の教訓と労働組合」 大崎 悟
- ④「帝国主義的憲法制定の陰謀を粉碎せよ！」 三谷 進
- ⑤「独自の政治宣伝開始の準備を統一的になそう」 三谷 進
- ⑥「日本資本主義の現状と革命の方向」 佐々木和雄
- ⑦「ニュース・大阪における春闘妥結状況」 田山寿勝
- ⑧「文化・映画批評の方法について」 八洲富稲雄
- ⑨編集後記 園田 浩

●第11号(62年7月10日)

- ①「主張・全学連再建大会を成功させ、来るべき大闘争にそなえよ」 飛鳥浩次郎
- ②「学生特集(1)現時点における学生運動の意義」 編集委員会
- ③「学生特集(2)京都における学生の闘争(戦術と評価)」 編集委員会
- ④「学生特集(3)われわれの当面する任務と方針」 社会学部対部
- ⑤「総評大会をむかえる労働運動の課題」 飛鳥浩次郎
- ⑥「擬似政治参加から政治闘争へ」 園田 浩
- ⑦「公務員賃闘の課題」 木山 茂
- ⑧「感覚的ソ連論」 八洲富稲雄
- ⑨「ニュース(1)社会学部の圧勝に終わる」 (同志社大選挙)
- ⑩「ニュース(2)社会学部正副委員長を掌握」 (京大同学会・教養部)
- ⑪「ニュース(3)社会学部優位にたつ」 (大阪市大選挙)
- ⑫「ニュース(4)大阪城製鋼における社研の闘い」
- ⑬編集後記 八洲富稲雄

●第12号(62年9月15日)

- ①「主張・1962年度下半期の闘争に向けて」 関西共産主義者同盟書記局
- ②「全電通の右傾化と左翼反対派の任務」 大崎 悟
- ③「総評大会とわれわれの任務—62総評運動方針批判—」 木山 茂
- ④「アルジェリア問題について」 浦野正彦
- ⑤「平和運動への接近」 竹野 巖
- ⑥「社会主義学生同盟を再建し、反帝闘争としての学生運動を展開せよ」 学対部
- ⑦「ニュース・電通大阪労研の闘い」
- ⑧編集後記 八洲富稲雄

●第13号(62年11月27日)～同盟員総会議案書特集号～

- ①「主張・同盟大会をむかえる我々の課題」 政治局

- ②「同盟員総会議案書・日本資本主義の転回点とプロレタリアート」 佐々木和雄
- ③「同盟員総会議案書・同盟の当面する組織方針」 江波恵一
- ④「理論・EECとそれをめぐる国際状況」 佐々木和雄
- ⑤「理論・ニューレフトと革命の構想」 園田 浩
- ⑥「理論・低迷の中から……」 田原 芳
- ⑦「我々の政治宣伝を強化せよ—政治新聞『烽火』発刊に際して」 編集部

●第14号(63年3月1日)

- 主張・当面する階級情勢と春闘 飛鳥浩次郎
- 中・ソ論争と我々の立場 園田 浩
- 「現代資本主義と革命—構造改良理論批判・第一章」 佐々木和雄
- 春闘における我々の課題

●第15号(63年6月10日)

- ①今日の潮～我等「新左翼」の足跡 I. Y
- ②国家独占資本主義と労働運動 飛鳥浩次郎
- ～特集・情勢の展開とわれわれの闘争～
- ③自由化の現段階と激化する階級闘争の性格 江波慎次
- ④情勢に対応する当面の組織戦術 松村三郎
- ⑤労働運動における新左翼の任務 大崎 悟
- ⑥同盟活動の諸問題 本田 弘
- ⑦全学連再建の展望 京都府学連委員長・高瀬泰司
- ⑧「現代資本主義と革命(Ⅱ)」 佐々木和雄
- ⑨書評～「美と集団の論理」ノート(その一)
- ⑩編集後記

●第16号(64年8月2日)～8・2全国労働者学生政治集会特集号～

- ①今日の潮
- ②8・2全国戦闘的労働者学生集会と新左翼の方向 松村三郎
- ③日本共産党と労働運動～4・17自己批判を中心して～ 三谷 進
- ④総評民同のゆくえとわれわれの活動方向 桧原 均
- ⑤韓国・東南アジア革命の現代的性格 土筆太郎
- ⑥現代における平和運動の諸問題～その混乱を克服する方向～ 佐々木和雄
- ⑦憲法問題メモ 都留宗一

●17号(65年6月15日発行予定)未刊行

- 「第二期階級闘争について」
- 「新たな階級情勢(第三期論)」
- 「党建設について」
- 「岩田『世界資本主義』批判」
- 「春闘総括—教訓とは何か」……その他